

～ 構成団体 ～
 連 合 長 崎
 県平和運動センター
 同盟友愛連絡会
 県中連懇話会
 労働金庫
 全 労 済
 県生活協同組合連合会



一 発 行 所 -
 長崎県労働者福祉協議会
 〒850-0031
 長崎市桜町 9-6
 長崎県勤労福祉会館内
 ☎ 095-811-6131
 roufuku-nagasaki@io.ocn.ne.jp
 発 行 日 隔月 1 日
 発行責任者 松尾清弘

県労福協 第34回定期総会を開催!! 2016年度の活動方針等を決定



主催者挨拶する森会長

▲県労福協は5月20日(金)、ホテル セントヒル長崎において第34回定期総会を開催し、2016年度の活動方針を決定した。運動の基調として、①社会運動と自治体に対する制度・政策要請、②暮らしの総合支援(ライフサポート)の労福協構成団体との連携取り組み、③労働団体、福祉事業団体、協同組合間の連携強化を強め、労働者福祉運動の基盤強化をはかる、④奨学金の制度改善に向けて、政党や様々な団体等と連携し実現に向けた取り組み、⑤多重債務、悪質商法等、消費者運動と連携した取り組み、⑥県労福協の運動向上(幹事会・各種専門委員会・研修等の充実)のため、あわせて、地域・職域で助け合いの機能を発揮し「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現をめざし全体で確認した。

▲総会には役員・代議員を含め94名が参加。原田副会長の開会挨拶で始まり、議長団には梶原代議員(中連懇)・中島代議員(同盟友愛)を選出した。

定期総会における森会長挨拶要旨

▲主催者を代表し森会長は、まず4月に発生した【熊本地震】に触れ被災者の皆さんの1日も早い復興を述べた。県労福協・連合長崎の立場から3点に

ついて挨拶をした。1点目に「ストップザ格差社会、暮らしの底上げに向けた行動について」アベノミクスの経済政策は消費税だけが増税され、社会保障の充実にはほとんど充てられていないこと。2点目に目前に迫った第4回参議院選挙勝利に向け、「クラシノソコアゲ」という大きな課題を解決するためにも極めて重要な戦いになる。3点目は労福協活動について、勤労者の福祉向上に向けた自治体要請行動と、「ライフサポートセンター」を始めとする暮らしのサポート事業の前進を強調した。結びに、本総会を以って勇退される「梶田事務局長」へ8年間の功績に対して、最大限の賛辞と称賛を送り、労働環境が厳しい中、労福協並びに福祉事業団体に対する支援・協力をお願いし挨拶とした。

▲続いて、長崎県の松本和也産業労働部雇用労政課長、民進党の宮島大典代表代行、社民党の坂本浩泉連合副代表より挨拶を受けた。



チャリティゴルフの募金を長崎県障がい者社会参加推進センターへ寄贈

▲今年度もチャリティゴルフ募金138,000円並びに書損ハガキを切手に交換し(22,303円)を「長崎県障がい者社会参加推進センター」へ寄贈した。

▲議案審議では、2015年度活動報告、決算報告、2016年度活動方針案、予算案など全ての議案が承認

された。

▲最後に森田副会長の閉会挨拶で第34回定期総会を締めくくり、総会を終了した。



白川鮎美氏

【株式会社：Aah(アッシュ)代表取締役】
を迎えての記念講演

～内面・外面・精神面を磨き魅力ある人づくり～
魅力的な人がつくる豊かな社会へ



講演される白川鮎美さん

▲今回「白川鮎美さん」の講演は、美容業界へ転職をきっかけに、多方面から人を美しくすることが天職となり、A a h (アッシュ) 主催のミス・ユニバース・ジャパン長崎大会プログラム（ビューティキャンプ）の中で、2年連続長崎代表が日本代表に輝くまでの経緯を紹介された。

女性の美意識向上から始まり【地域や企業を魅力的にするのは人の魅力】という内容について、外面（見た目・立ち振る舞い）・内面（感性）精神面（自分自身を知る）の3面美を磨くことによって魅力的になる。人が魅力的であることはどんな業界でも必要であり、見方を変えて学ぶ有意義な講演であった。

2016年度 長崎県労福協役員

役職名	氏名	選出団体
会長	森 光一	連 合 長 崎
副 会 長	松田 圭治	県平和運動センター
〃	酒井 隆	同盟友愛連絡会
〃	桜井 健一	県中連懇話会
〃	森田 孝徳	労働金庫
〃	原田 敏春	全 労 済
〃	本田 稔	県生協連
事務局 長	松尾 清弘	労働金庫
事務局次長	佐竹 明彦	連 合 長 崎
幹 事	宮崎 辰弥	連 合 長 崎
〃	坂本 浩	県平和運動センター
〃	塩田 淑文	同盟友愛連絡会
〃	西平 博之	県中連懇話会
〃	芳川孝太郎	長 崎 地区労福協
〃	鴨川 博明	佐世保 〃
〃	入江 良美	諫 早 〃
〃	塩入 高志	大 東 〃
〃	高井良芳行	五 島 〃
〃	吉元 修二	北 松 〃
〃	田尻 正行	島 原 〃
〃	赤木 修	壱 岐 〃
〃	大塔 克彦	対 馬 〃
〃	鉄川 信隆	上五島 〃
〃	松村 章嗣	労働金庫
〃	友知 辰次	全 労 済
〃	岩永 尚之	県生協連
会計監事	湯浅健太郎	労働金庫
〃	富永 孝則	全 労 済

【退任挨拶】



退任挨拶する榊田前事務局長

第26回定期総会（2008年6月25日開催）に新事務局長として選任されてから早くも8年が経過し、年齢も68歳を超え高齢者と呼ばれる歳になりました。この間、労福協に携わり多くの事を学ぶ事ができました。特に、2013年度～2014年度の2年間は

「九州・沖縄」を含む「南部労福協」の事務局長並びに中央労福協幹事の役割は、忙しい中にも充実感と緊張感を持続できた2年間でした。この経験は、私が想定していた「労福協運動」より福祉運動の裾野の広さと、己の未熟さを痛烈に感じたものです。取り組むべき課題が多く、とても2人の専従体制では時間と資金が不足し歯がゆい思いもしました。

任期期間で、残念だったのは、「労働組合・労福協・ろうきん・全労済・生協」が「労働者自主福祉運動」の主な担い手としての役割について、「労働組合の役員・組合員」の皆さんに必ずしも十分に理解されていないことでした。そのため、労働組合とろうきん・全労済・生協との連携強化に向けた取り組みは欠かせませんでした。次に、生活困窮者が増え続け、格差は拡大し、将来に夢と希望が持てない時代になった事です。そのため生活応援の手段として、なんでも相談できる「ライフサポートセンター」を設立しましたが、認知度はイマイチです。専従相談員も配置しており、何でも遠慮なく相談して欲しいと願っています。

この8年間は私にとって、充実した時間と多くの出会いがあり、これまでとは違った次元の内容について、多くの事を経験させていただきました。このことは、連合長崎をはじめ労福協を構成する役員の方を中心に、専門部会、地区労福協役員の皆様に支えていただいた事によって、今日までたどりつくことができました。改めて、この紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。また、隔月発行しました会報（労福協ニュース）については、あまり面白くもない紙面にも関わらず、苦情もなく継続して発行できたことは、内容は別としても「良し」としたいと思います。末尾に、労働組合の組合員拡大、「労働者自主福祉運動」（ろうきん・全労済・生協）の事業拡大は、労働者・勤労者にとって「幸せへの」近道だと信じています。今後も鋭意努力されんことを願ってお礼に変えます。

前事務局長 「梶田 憲二」

【新任挨拶】

第34回定期総会において新事務局長として選任いただきました「松尾清弘」です。

永年、労働金庫において労働者自主福祉運動の一端を担ってきましたが、今回、労働者福祉運動の専担者としてお世話になる事となりました。取り組むべき課題が多く厳しい情勢下ではありますが、「労働者自主福祉運動」（ろうきん・全労済・生協）の事業拡大・発展の為に渾身の努力を払う所存です。労福協を構成する会員・事業団体の皆様方の格別の

ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



松尾です、よろしくお願いします。

諫早地区労福協 2015年度第1回セミナー(学習会)

諫早地区労福協セミナー（学習会）が2016年5月18日18：30より諫早市勤労者福祉会館にて開催されました。

次 第

1. 開会 18：30～
諫早地区労働者福祉協議会
事務局長 入江 良美
2. 主催者あいさつ
諫早地区労働者福祉協議会
会 長 大木 豊



3. 講演：『奨学金問題の取り組みについて』
講師：長崎県労働者福祉協議会

事務局長 梶田 憲二



4. 事業団体『2015年度年度末の取り組みと2016年度の取り組み』

① 労 金 『ろうきん有効な活用について』

九州労働金庫諫早支店

渉外係 藤岳梨津子



② 全労済 『自然災害に備えて!』

全労済長崎県本部長崎支所

支所長 金澤 宏和



以上の内容でセミナーを実施しました。

今回は長崎県労福協 梶田事務局長より講演を受けましたが、奨学金問題の取り組みについて、参加者全員が真剣に聞き入っていました。今回の講演2日後には、5月20日(金)13:30より開催される県労福協第34回総会第6号議案において退任される、

梶田事務局長におかれましては8年間にわたり、長崎県労福協事務局長として労働者福祉協議に関し、九州地区南部労福協や県下で活躍されてきました。

退任される2日前にもかかわらず快く引き受けていただいた梶田事務局長に深く感謝申し上げます。

尚、当日の参加者は70名参加でした。ありがとうございます。諫早地区労福協は今後とも、労働者福祉強化にむけ学習会等を実施していきますので参加よろしく願いいたします。

愛知労福協(岡崎・額田支部)より 活動視察・意見交換に来崎されました!



5月30日(月)午前10時より、九州労金長崎支店4階会議室に於いて「長崎県労福協」と「愛知労福協(岡崎・額田支部)」で活動報告・意見交換会を開催しました。

森会長より挨拶を行った後、①長崎県労福協の概要 ②労福協契約店関係 ③地区労福協活動等についての説明と、岡崎・額田支部の活動報告をうけ、意見交換を行いました。

第91回
労福協

クイズ

1. 九州ろうきんでは2016夏季預金運動を6月1日(水)～7月31日(日)まで展開しています。夏季預金運動の名称は、2016夏季「○○○○○○○○○○キャンペーン」です。○○○○○○○○○○に入る8文字は何でしょうか?

2. ○○○○カフェでは防災グッズや書籍・非常食などを紹介しています。(ヒント:5ページ)

◎答えはハガキかFAXで住所・氏名・職場名を明

記し県労福協へ送付ください。

◎締切日は7月22日(金)(当日消印有効)

◎当選者10人の方に「お楽しみプレゼント?」をお送りします。正解者多数の場合は抽選となります。

◎送り先 〒850-0031 長崎市桜町9-6

長崎県労福協クイズ係

◎FAX (095) 811-6132

◎前月号当選者(敬称略)

石津美智子(大村) 吉井悦子(大村)

富永信子(大村) 川崎もえみ(大村)

今山恵子(大村) 石丸久美子(大村)

池田美江子(大村) 三根邦子(大村)

柴田孝子(大村) 橋本暁寛(諫早)

2015年度 全労済長崎県本部「ぼうさいカフェ」を開催しました！

長崎会場・佐世保会場の2箇所で開催しました。

ぼうさいカフェでは防災グッズや被災写真パネル、書籍・非常食を紹介し、2015年から2016年にかけて発生した自然災害の給付状況を説明しました。また、自然災害共済の給付事例を紹介し、災害時の十分な保障の備えについてあらためて認識いただく機会となりました。

そして、様々な災害から組合員とその家族を守るため、協力団体と全労済が連携を密にし、防災・減災の啓発活動を積極的に取り組むことを確認しました。

＜長崎会場の開催風景＞

2016年5月12日（木）サンプリエールで開催しました。
参加は30団体、64名となりました。



＜参加者からの声＞

予想を超える災害に直面した時、比例して予想外の費用がかかってしまう。本当に必要なものを家族で考え、優先順位を決める必要があると思った。



防災グッズ・非常食

＜佐世保会場の開催風景＞

2016年5月23日（月）ホテルリソル佐世保で開催しました。
参加は15団体、30名となりました。



被災写真パネル・防災関連書籍



保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

【お問い合わせ先】 下記の全労済長崎県本部各支所へ

■ 長崎支所

長崎市宝栄町3番15号

TEL (095)864-7144 FAX (095)862-8127

■ 佐世保支所

佐世保市城山町1番22号

TEL (0956)25-8012 FAX (0956)22-7292

★★2016夏季「こどもみらい応援キャンペーン」へ

～ ご協力、よろしくお願いします。 ～



●ろうきんの「しあわせ創造運動」と「こどもみらい応援キャンペーン」について

ろうきんの「しあわせ創造運動」とは、働く仲間の生活を守り、改善する取り組みです。また、福祉金融機関としてのくろうきん運動の原点に立ち返り、働く仲間の絆を太く・強く育てながら、永続的に取り組む運動でもあります。今回の「こどもみらい応援キャンペーン」は福祉金融機関としてのろうきんと働く仲間が連携し、未来を担うこどもたちを支援する取り組みとなっています。

2016 夏季預金運動は、2016 夏季「こどもみらい応援キャンペーン」として6月～7月のキャンペーン期間中に預けていただいた寄付対象となる定期預金（団体預金・財形・エース預金、退職者専用定期等を除く）の新規・入金額の0.02%相当額をくろうきんが拠出し、各県の【こどもたちを支援する団体】へ寄付します。

【各県の寄付先】

県名	こどもたちを支援する団体名
福岡県	福岡県児童養護施設協議会
佐賀県	佐賀県児童養護施設協議会
長崎県	長崎県児童養護施設協議会
熊本県	熊本県内の児童養護施設(熊本県下12施設)
大分県	大分県児童養護施設協議会
宮崎県	公益財団法人 電通宮崎・育英会
鹿児島県	鹿児島県児童養護施設協議会



★★「フレ！フレ！フレッシュャーズキャンペーン」実施中！★

●フレッシュャーズに、ろうきんがオススメの理由！

- ◆ポイント① コンビニで、ATM手数料が実質0円！
- ◆ポイント② コツコツ貯めるのにうれしい財形貯蓄！
- ◆ポイント③ スマホやPCでらくらくネットバンキング！



九州ろうきんでは、若年層のみなさまを対象としたキャンペーンを、今年度も4月1日(金)～10月31日(月)の期間で実施しています。キャンペーン期間中、対象のお取引を新規で2項目以上ご契約いただいた方全員に「ツカエルさん通帳ケース」をプレゼントしています。

キャンペーン応募対象項目・応募方法など、くわしくはWEB (<http://kyusyu.rokin.or.jp/>)、お近くの店舗、または「九州ろうきんお客様サービス室(フリーダイヤル:0120-796-210受付時間/平日9:00～17:00)」へお気軽にお問い合わせ下さい。

《さらに抽選でもらえる》… ツカエル！モバイル！～バッテリー！もらえる！

「フレ！フレ！フレッシュャーズキャンペーン」応募券をご提出いただいた方から抽選で3,000名様にツカエルさんの「ツカエル！モバイル！バッテリー」をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

抽選でもらえる！

抽選
3,000
名様ツカエルさんの
ツカエル！モバイル！バッテリー

USBケーブルで充電できるので、デスクワーク中に充電しておけば
オフィスでも外出先でも、もうバッテリー切れの心配なし！これはツカエル！

かならず
もらえるツカエルさん
通帳ケース

対象者

- ① 20歳以上 30歳未満の方。 ② 30歳以上で、2014年度～2016年度の新規採用者。

対象のお取引
(新規ご契約分)

- 一般財形またはエース預金 ●財形年金、財形住宅またはエース預金(年金型)
●給与振込 ●カードローン ●ダイレクトバンキング
※前年度2項目以上ご契約いただいた方を抽選の対象とさせていただきます。

※抽選日に、ご契約内容が確認できない場合には、抽選権が失効する場合があります。※応募要領の抽選期に定めて抽選を行います。なお、6月末までに到着した応募券は7月までに、10月末までに到着した応募券は11月に抽選を行い、当選者への賞品の発送をもって発表いたします。詳しくは、お近くの九州ろうきん窓口へお問い合わせください。